

第1109回 市売市況表

(令和7年6月11日実施)



長野県森林組合連合会 伊那木材センター

TEL0265-72-2684

Fax0265-76-8759

○ 強気配 — 保合 △ 弱気配

樹種	長さ(m)	規格	末口(cm)	高値(円/㎡)	中値(円/㎡)	安値(円/㎡)	気配	備考
ひのき	3.0	直	14	15,000	13,000	6,000	—	3m 24cm上に需要あり
		直	16~22	19,000	18,000	6,000	—	
		直	24~30	21,000	18,000	10,000	○	
	4.0	直	14~16	17,000	13,000	10,000	—	4m土台取りを中心に需要あり
		直	18~22	21,000	19,000	10,000	○	
		直	24~28	21,000	19,000	10,000	○	
		直	30上	21,000	18,000	10,000	—	
		元玉	26上	46,000	29,000	18,000	—	
	6.0	直	16~20	28,000	23,000	17,000	—	直造材でお願い
すぎ	3.0	直	14~16	10,000	7,000	6,000	—	3m柱取りに需要あり
		直	18~22	14,000	12,000	6,000	○	
	4.0	込	20上	13,000	10,000	7,000	○	直造材でお願い
		直	24~28	17,000	12,000	10,000	○	
		直	30上	17,000	12,000	7,000	△	
からまつ	4.0	込	18上	20,000	16,000	6,000	○	需要回復
さくら	1.6~5.4	込	4~54	143,000	23,000	6,000	—	時期が悪く、価格伸び悩み
とち	2.0~4.2	込	20~44	26,000	15,000	8,000	—	
みずめ	2.0~4.0	込	20~30	33,000	18,000	12,000	—	
くり	2.0~4.4	込	8~34	24,000	15,000	8,000	—	
なら	1.8~4.6	込	7~42	19,000	13,000	8,000	—	

出品量 1,118 m³ 販売量 1,118 m³ 落札率 100 % 買い方 34 社

今回は、国有林の広葉樹やヒノキの元玉等、多くの良材が出品され賑やかな市売りとなりました。

製材用丸太について、ヒノキは3.0mの柱取りが依然として需要低調ですが、24cm上の間柱用材の需要は旺盛です。4.0mの土台取りは変わらず需要があります。引き続き直造材でお願いします。

スギは不足感から需要回復傾向です。18~22cmは3.0m、24cm上は4.0mで造材をお願いします。

カラマツは継続的な需要が見込まれますので、直造材での出品をお願いします。今後も需要動向に注意しながら、造材方法等ご相談させていただきますのでよろしくお願いいたします。

合板用丸太については、原木不足により需要が回復しましたが、今後の見通しは依然不透明です。引き続き直造材を心掛けてください。

広葉樹については、時期が悪くなり、良材であっても価格が伸び悩みました。極力、秋以降の伐採に変更をお願いします。もし、伐採される場合は、伐採後早めのご出品をお願いいたします。

【お願い】令和7年4月1日からの「グリーンウッド法」施行に伴い、出荷の際には合法的に伐採された木材であることを証明する書類(伐採届、経営計画認定書 等)の提出をお願いいたします。

(安全のため荷下ろし、積込みの際には車止め、またヘルメットの着用をお願いします。)

次回 令和7年7月9日(水)